

児童館の種類と運営のいろいろ。

児童館は大きく分けて3種に分類されています。

地域密着型で広く地域全体をカバーする小型児童館、
 体育館などを備え、体力増進機能を持つ児童センター、
 主に県が設置する大型児童館。それぞれが特長を活かし、
 地域の子どもたちのために活動しています。



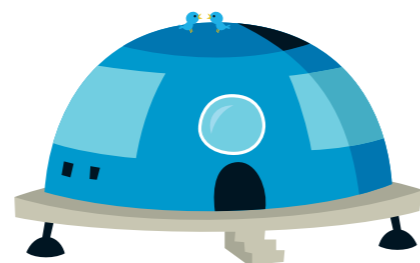
児童館の種類

区分	小型児童館	児童センター		大型児童館		
		児童センター	大型児童センター	A型児童館	B型児童館	C型児童館 (こどもの城)
職員	児童厚生員2名以上	児童厚生員2名以上 体力増進指導者	児童厚生員2名以上 体力増進指導者 年長児童指導者	児童厚生員2名以上		
面積	217.6㎡以上	336.6㎡以上	500㎡以上	2,000㎡以上	1,500㎡以上	
設備	集会室、遊戯室、図書室、事務執行に必要な設備。必要に応じ、相談室、創作活動室及び静養室等		+年長児童用設備 (例えばスタジオ、トレーニング室、小ホール等)	+研修室、展示室、多目的ホール、ギャラリー等	+児童館設備、宿泊室、食堂、浴室、キャンプ設備 必要に応じ、移動児童館車両	劇場、ギャラリー、屋内プール、コンピュータプレイルーム、歴史・科学資料展示室、宿泊研修室、児童遊園等

・法的根拠…児童福祉法(昭和22年法律第164号)第40条に定められています。
 ・設置運営…児童福祉施設最低基準(昭和23年厚生省令第63号)に詳しく定められています。

児童:0歳~18歳未満

児童館数	4,673館(平成15年 厚生労働省調べ)
放課後児童クラブ数	14,457カ所(平成16年 厚生労働省調べ)
母親クラブ数	3,237クラブ(平成16年 全国地域活動連絡協議会調べ)



小型児童館の例・・・塔南の園児童館(京都市)・・・

長年「ヨルのジドウカン(夜の児童館)」など、中高生の居場所づくりに力を入れてきました。今では、乳幼児から中高生、さらには大学生や社会人ボランティアまで、それぞれの居場所として活用されています。中高生たちが児童館に対して感じている魅力は、子どもたちとその親や地域との関係づくりを通して他者に働きかける活動が生まれていくことの楽しさと感動です。そんな中で中高生企画のイベントが生まれています。隣接するデイサービスセンターの夕方の配食活動をチーム運営するなど、中高生たちが地域の一員として活躍しています。



児童センターの例・・・松山市中央児童センター(愛媛県)・・・

親子キャンプ活動、ジュニアボランティア、中高生向けのプログラム、障害を持った子どもたちのクラブなど、さまざまな活動を行っています。その一つ、劇団「夢邪気」では、プロの役者をめざすのではなく、演劇という疑似体験を通して、人を意識し、相手の気持ちを受け止め、自分の気持ちを伝える表現力を養うための活動を行っています。また、移動児童館として地域やPTAに向けての事業を年間60回以上実施しています。



大型児童館の例・・・こどもの城(東京都渋谷区)・・・

唯一の国立大型児童館で、(財)児童育成協会が運営しています。館内には、体育室・プレイホール・造形スタジオ・音楽ロビー・ビデオライブラリー・パソコンルームなどの施設があります。また、さまざまな側面から子どもたちの文化や福祉を支えていくため、劇場・小児保健クリニック・保育施設なども設置。さらに「動くこどもの城」事業として、その多彩なプログラムを全国に提供しています。登録ボランティアも300名を超え、活動を支援しています。



児童館の運営方法のいろいろ

公設公営	行政が企画・設置・運営します。昭和38年の国庫補助金制度の設立後、急速に増えた児童館の多くがこのタイプです。基本的に職員は行政に帰属します。
公設民営	行政で児童館を設置し、運営は委託しているケースです。運営主体は、今までは社会福祉法人が主でしたが、指定管理者制度に伴い、民間企業、NPO法人等も運営することが可能になりました。今後、ますます増えるものと予想されます。
民設民営	設置から運営まで、すべて民間団体で行っているケースです。保育園との併設が多く、独創的な活動が多く展開されています。全国の民間児童館が連携し相互支援することを目的として、民間児童館ネットワークが設立されています(事務局 財団法人児童健全育成推進財団)。